

横河電機株式会社  
平成25年3月期（2012年度）  
当社グループの取り組み

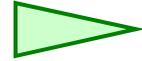
2012年5月14日  
代表取締役社長 海堀 周造

## ■ 2011年度 経営成績

(億円)

	FY10実績(A)	FY11計画 (11/8)	FY11実績(B)	差異(B-A)
受注高	3,341	3,560	<b>3,441</b>	100
売上高	3,256	3,360	<b>3,347</b>	91
営業利益	111	150	<b>166</b>	55
経常利益	86	120	<b>140</b>	54
当期純利益	▲67	60	<b>60</b>	127

2009年度と2010年度の2年間



次なる飛躍に向けた構造改革の時期

- 固定費削減のアクションプラン
- 事業ポートフォリオ見直しのアクションプラン

## ■ 構造改革の積み残しアイテム

- ◆ フォトニクスビジネスからの撤退の完了と相模原事業所の有効活用に見途をつける
- ◆ 半導体テストビジネスにおけるアライアンスを実現させる



2011年度中の完遂に注力

YOKOGAWA

日本オプネクスト

20年間のリース契約締結

(2013年4月～2033年3月)

◆ 2012年度は準備期間 ← YOKOGAWAに費用発生

2013年度以降はリース料により相殺

フォトニクスビジネスからの撤退は意思決定済み  
2013年度以降、同ビジネスが大きな損失を計上するリスクはない



- ◆ 同ビジネスの従業員（韓国企業へ出向する一部を除く）は、制御事業や生産技術、研究開発など、グループ内の様々な分野で活用

2012年度は半導体テストビジネスの終息に関する損失を計上するものの、2013年度以降は、同ビジネスが大きな損失を計上するリスクはない

## ■ 構造改革積み残しアイテムに対する意思決定

→ 3年間にわたった構造改革を完遂

**ビジョン**

**制御事業 グローバルNo.1**

マーケットシェア：業界トップシェア

制御事業を中心とする

**基本戦略**

**成長戦略・ビジネス構造改革戦略**

財務体質の健全化を図る

**Evolution 2015** 

本格的に展開する体制が整う

## ＜市場環境＞

新興国を中心に中長期的な持続的成長が見込まれる

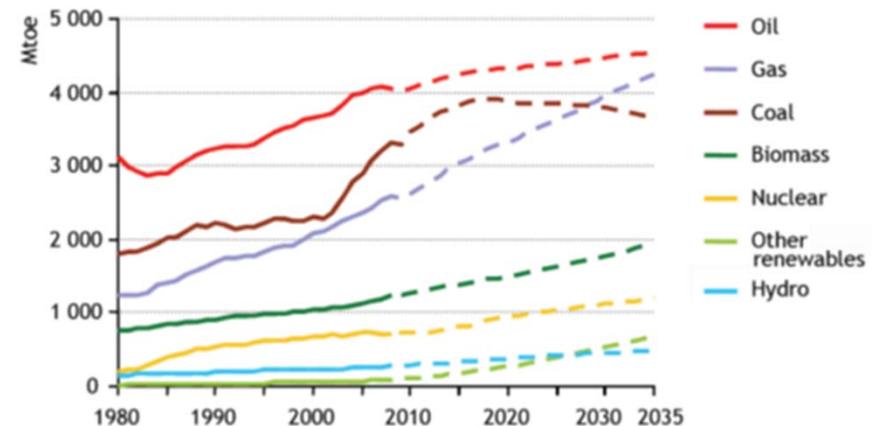
- エネルギー需要の高まりは今後も継続、電力関連投資は2015年に現在の1.4倍に拡大
  - ◆ 天然ガス需要 : 2035年には 2008年比 1.6倍 と予測される
  - ◆ 石油需要 : 引き続き堅調
  - ◆ 再生可能エネルギー : バイオマス関連の市場規模が大きく、成長が期待される
- エネルギー以外の業種では、化学製品の需要が 高付加価値な機能性化学品 を中心に GDPの拡大以上に成長する見込み



拡大する制御市場に向け

**お客様の視点に基づく、  
課題解決型のソリューションサービス  
ビジネスを中心とした成長戦略を展開**

Figure 1.1 ▶ World primary energy demand by fuel in the GAS Scenario



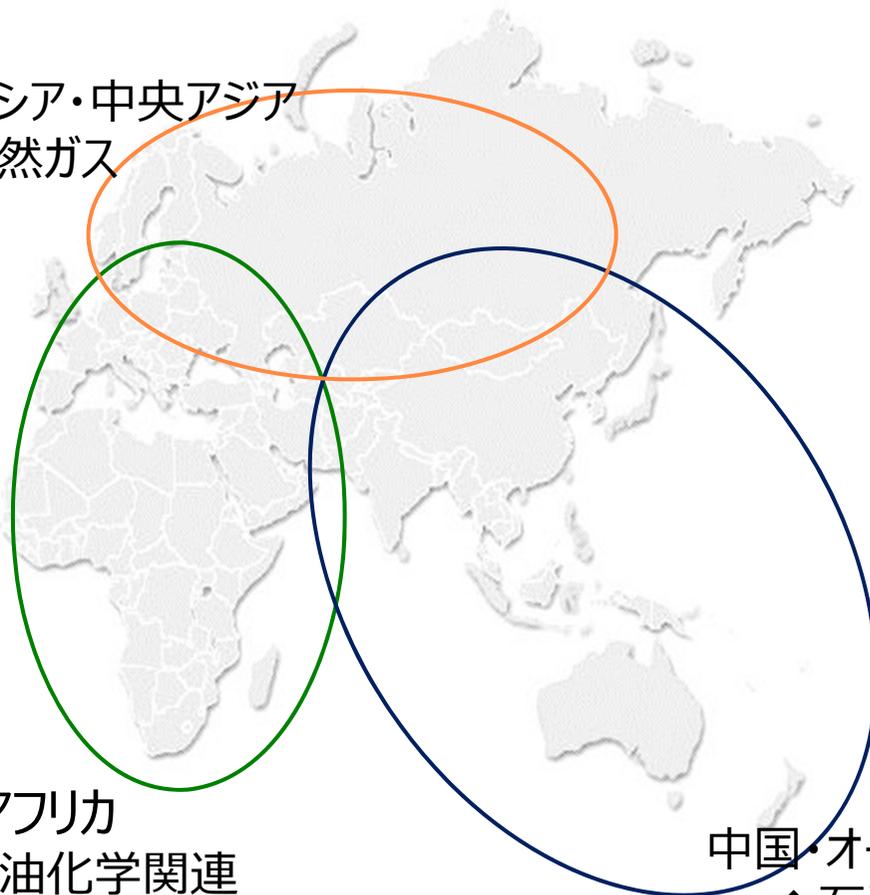
Source: IEA WEO 2011\_Golden Age of Gas Report

## ■ 多数の引合い

欧州・ロシア・中央アジア  
◆天然ガス



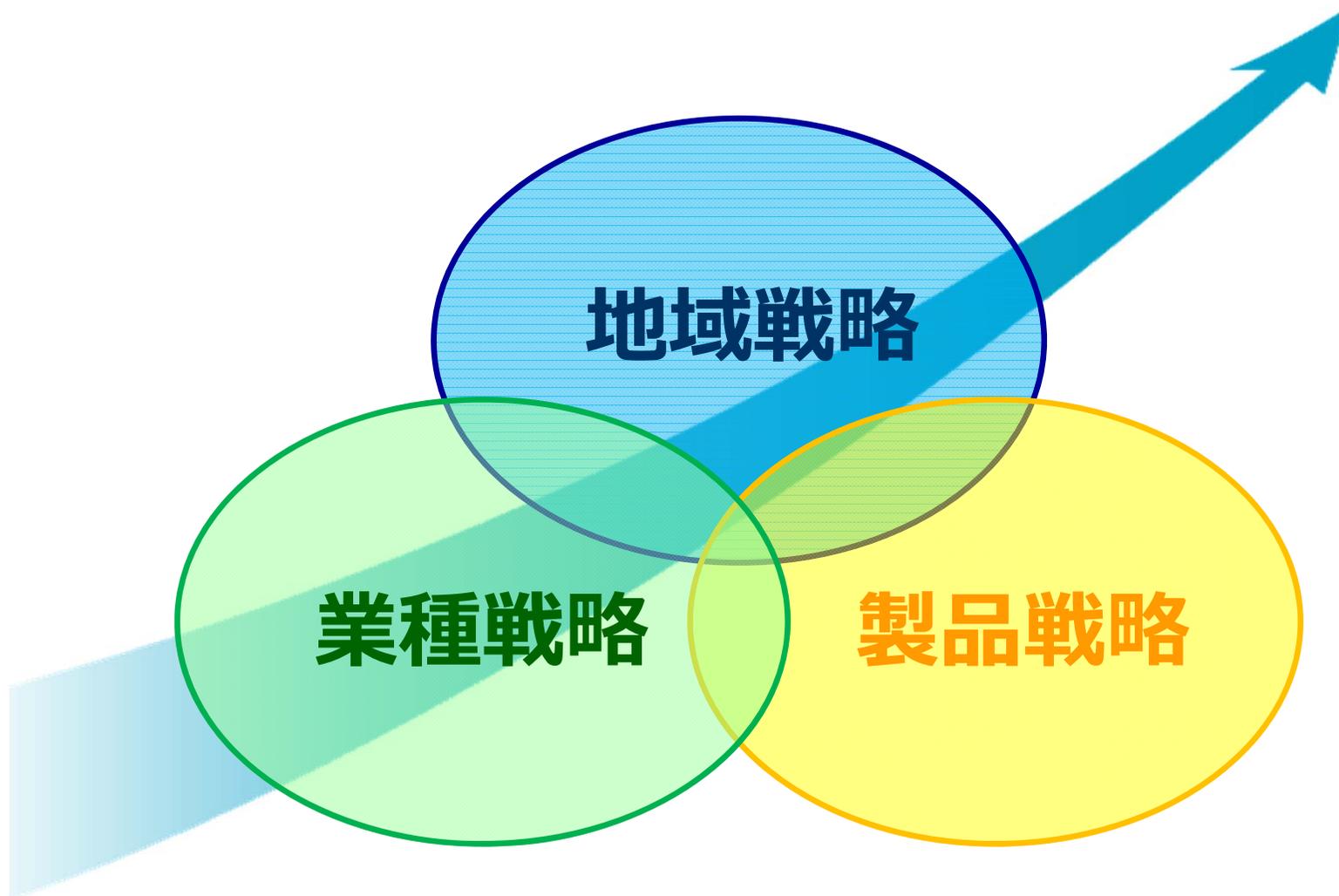
北米  
◆シェールガス  
◆オイルサンド



中東・アフリカ  
◆石油化学関連

中国・オーストラリア・東南アジア  
◆石油化学関連  
◆天然ガス

## 3つの戦略でビジネスを成長させる



## ■ 業種戦略

### ◆ ダウンストリーム（石油精製・石油化学）

ナショナルオイルカンパニー  
ペトロブラス・ペトロナス など

← ソリューション提供の強化

### ◆ アップストリーム（石油・ガス開発）

オイルメジャーが投資を集中  
エクソン・シエル・シエブロン・BP など

← ダウンストリーム分野での高い実績をもとに  
アップストリーム分野を攻略

◆ 電力 アジア・オセアニアを中心に獲得した実績 を全世界に展開

◆ 化学 海外市場でのシェア拡大に向け 欧州大手化学会社の攻略

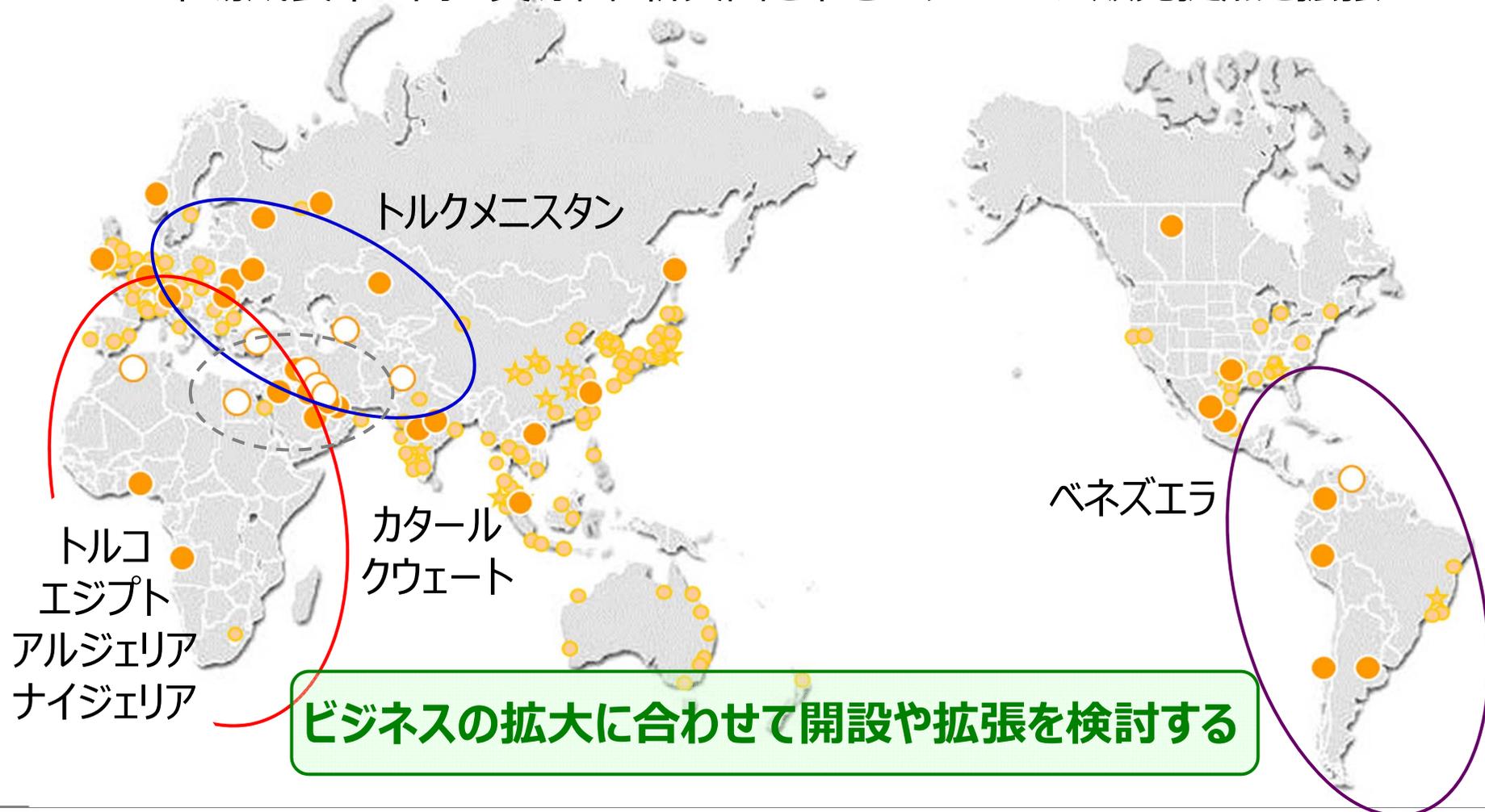
### ◆ 再生可能エネルギー分野

バイオマス関連市場

← ・高いシェアを持つ石油化学の制御に近い  
・ブラジルやシンガポールでの実績  
バイオエチレンプラント／バイオマス・石炭混焼発電プラント  
これらを活かしてシェアを拡大

## ■ 地域戦略

- ◆ 市場成長率の高い資源国・新興国を中心にグローバル販売拠点を拡張



## ■ 製品戦略

- ◆ センサ・プロダクト分野でのシェア拡大に向け、製品ラインアップの拡充を進める

<2011年度の主な実績>



光ファイバ分布型温度センサ  
DTSX200



無線フィールド機器  
EJX・YTA510 など



差圧・圧力伝送器  
DPharp EJAシリーズ

今後も新製品の開発や現行製品の性能・機能アップなど  
センサ・プロダクト分野の製品ラインアップ拡充に注力し、シェア拡大を図る

**Evolution 2015** 

	Evolution 2015 FY15経営目標
売上高	4,000億円
営業利益	400億円
売上高営業利益率	10%
EPS (一株当たり当期純利益)	100円以上

※為替：1\$=80円, 1€=110円

本資料およびアナリスト説明会で提供する情報のうち業績見通し及び事業計画等に関するものは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいております。従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

